

# 7人制ラグビー

# 審判で夢舞台へ

## A級資格 小学校教諭の小出さん

白浜第一小学校(白浜町)教諭の小出兼司さん(33)が、日本ラグビーフットボール協会公認の審判資格「セブンスA級レフェリー」を取得した。日本協会が主催する7人制ラグビーの国際大会で審判をすることができる。現在、日本では4人だけ。東京五輪で笛を吹くことが目標だ。

7人制ラグビーは東京五輪 育成チームに参加し、2年間の正式種目になっており、日 講習を受け、短距離走や持久本協会が2017年から審判 力などの体力テストや、健康の育成を始めた。小出さんも チェックを繰り返した。国際



7人制ラグビーのA級レフェリーに認定された小出兼司さん

試合で審判の経験を積むため フィジーやイタリア、インドネシアなどでの大会にも出向き、7人制ラグビーの審判で国内最高峰の資格を取得。日本代表選手と同じ桜のエンブレムが胸に付いたジャージを着て日本協会から受け取った。

日本人の審判が東京五輪で笛を吹けるかどうかはまだ分からないという。小出さんは「桜を付けてピッチに立つことは憧れだった。喜びが大きい」と同時に責任を感じる。最大限の努力をし、その結果、夢の舞台に立てたらうれしい」と意気込みを話す。

小出さんは田辺工業高校、国士館大学でラグビーを経験した。大学2年の時に脊髄を痛めてプレーを続けることができなくなりましたが、審判の道を目指した。大学卒業後は地元に戻って教員になり、仕事の傍ら、審判の資格を段階的に取得していった。

15年、関西協会公認の「W

1」の資格を取得。この年の和歌山国体でラグビー競技(7人制)の審判を務めた。